



コシヒカリ誕生50周年

日本を代表するおいしいお米「コシヒカリ」は、昭和31年（1956年）に福井県で生まれ、平成18年（2006年）に50歳を迎えました。現在、日本で一番多く栽培されている品種です。

昭和19年に「農林22号」を母に、「農林1号」を父に、「コシヒカリ」のもととなる交配が行われました。交配して生まれた稲の中から、優れた稲だけを繰返し栽培することで性質を安定させ、昭和31年ついに「コシヒカリ」が生まれました。

「コシヒカリ」は越（こし）の国（現在の福井県から新潟県）に光り輝くことを願って命名されました。

「コシヒカリ」は昭和31年に新潟県と千葉県で奨励品種になり、その後全国に広がっていきました。現在44の都府県で栽培されています。

品種別のシェアでは全国の稲の約4割を占め、品種別の栽培面積では、昭和54年に日本一になって以来27年連続してその座を守っています。

また「コシヒカリ」は、多くの優れた性質を持っているため、新しい品種を開発するときの「親」として利用されています。現在、栽培面積の全国上位10品種すべてが、「コシヒカリ」の子孫です。

順位	品 種 名	関係	作付面積 (h a)	作付割合 (%)	育成地
1	コシヒカリ	—	5 5 6, 3 4 5	3 8. 0	福井県
2	ひとめぼれ	子	1 5 4, 9 2 9	1 0. 6	宮城県
3	ヒノヒカリ	子	1 5 0, 7 7 9	1 0. 3	宮崎県
4	あきたこまち	子	1 3 1, 7 5 1	9. 0	秋田県
5	キヌヒカリ	ひ孫	4 9, 3 0 4	3. 4	北陸農試
6	きらら397	ひ孫	4 8, 9 9 2	3. 3	北海道
7	はえぬき	孫	4 5, 3 5 9	3. 1	山形県
8	ほしのゆめ	ひ孫	3 6, 0 8 8	2. 5	北海道
9	つがるロマン	孫	2 5, 0 3 5	1. 7	青森県
10	ななつぼし	ひ孫	1 8, 6 9 1	1. 3	北海道